

2) 石川地域

現況と課題

石川地域は、金武湾から国道329号石川バイパスまでの間にコンパクトに市街地が形成され、石川バイパスより市境までは農地や丘陵地等のみどり豊かな空間が広がっており、その中に集落が点在している。

本地域の人口及び世帯数は増加傾向であり、土地利用状況は自然的土地利用が上回っている。公園・緑地は27箇所あり、住民一人当たり公園面積（供用開始）は11.5m²となっている。（都市公園等一覧は参考資料p59～61参照）

本地域には、金武町や恩納村との境界に広く残る石川岳をはじめとする緑地や、金武湾の海岸線、地域を流れる石川川等の自然が豊富にあり、今後の保全が課題である。

また、市民の森公園（石川岳）や石川高原展望台等の自然と一体となった施設の活用も課題である。



表 人口・世帯数の推移 (単位:人、世帯)

	H2	H7	H12	H17
人口	20,733	21,808	21,992	22,441
世帯数	5,941	6,613	7,061	7,827

資料:国勢調査

さらに、伊波城跡等の高台からの眺望や、山城の茶畑等の昔からの営み風景等の景観の維持・保全も課題である。

表 土地利用状況

(単位:ha)

	自然的土地利用					都市的土地利用					合計
	農地	山林	水面	その他	小計	宅地	公共・公益用地	道路	その他	小計	
面積	619.5	394.6	59.6	130.9	1,204.6	237.3	135.3	196.4	340.4	909.5	2,114.0
構成比	29.3%	18.7%	2.8%	6.2%	57.0%	11.2%	6.4%	9.3%	16.1%	43.0%	100.0%

資料:平成18年 都市計画基礎調査

表 公園・緑地の状況

(単位:箇所、ha)

	住区基幹公園		都市緑地	その他の公園	合計	一人当たり公園面積(m ²)
	街区公園	地区公園				
箇所	13	1	5	8	27	11.5
面積	2.42	10.17	8.23	5.01	25.83	

緑道・その他(未決定)、未着手公園を除く

一人当たり公園面積:供用開始面積合計÷人口(H17国勢調査)

資料:うるま市 都市計画部 都市計画課(平成21年)

みどりの特性（主なみどりの資源）

本計画では、基本方針として「みどりを守る」「みどりをつくる」「みどりを育てる」の3つの柱を掲げている。（p23 参照）

「みどりを守る」には、樹林地や農地、河川や海岸・海浜等の自然環境の保全がある。また、歴史文化的な資源である史跡（グスク・井泉等）や闘牛場、集落の屋敷林等の保全もある。本地域においては、石川岳、石川川、伊波城跡等の資源がある。

「みどりをつくる」には、道路の植栽帯や公園・緑地の整備、公共施設及び民間施設の緑化、地域住民による住宅地や河川敷・海岸等での緑化活動等がある。本地域においては、市道石川西線のフクギ並木道や市民の森公園、学校施設や発電所等の緑化空間、石川川河川敷等での地域住民による緑化活動等の資源がある。

「みどりを育てる」には、樹林地等の保全するみどりや公園等の創出するみどりの維持管理について、地域住民等と協働で樹木の剪定・草刈り・清掃活動等を行うことや、地域資源として観光や教育等への活用等がある。本地域においては、石川川やイッペーの森等で地域住民等による清掃活動やイベント開催といった資源がある。

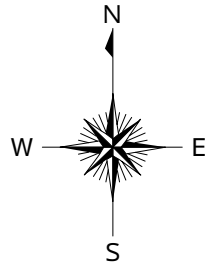
本地域のみどりの特性となる主な資源を、住民意見を踏まえて以下のように整理し、次頁において図示する。

樹林地	石川岳
農地	山城の茶畑等
河川	石川川、肥前川、ユマサ川、山田川
海岸・海浜	金武湾の海岸・海浜、石川ビーチ
史跡・闘牛場	伊波城跡、伊波貝塚、ハチジャー、嘉手苅観音堂、東恩納闘牛場等
屋敷林・シンボルツリー	フクギ屋敷林（石川1・2丁目、伊波等）、伊波小学校のガジュマル等
道路の植栽帯	山城のサワフジ通り、市道石川西線のフクギ並木道等
公園・緑地	石川公園、市民の森公園、石川イベント公園等
民間施設緑地	ビオスの丘、ゴルフ場
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、発電所、リゾートホテル等
良好な眺望点	伊波城跡、石川高原展望台、市民の森公園展望台等
地域の緑化活動	石川川の緑化・清掃活動、イッペー通り・イッペーの森の植樹活動等

また、以前あったが現在はなくなった良好なみどりとして、赤崎の拝所の一本松等が、住民意見から挙がった。

みどりの現況特性図（石川地域）

0 500 1,000 2,000m



伊波城跡の周辺は良好なみどりが残っており、また、良好な眺望点にもなっている



レクリエーションの場となっているピオスの丘



石川高原展望台からの良好な眺望



嘉手苅観音堂



消防坂通りにみられる良好な街路樹



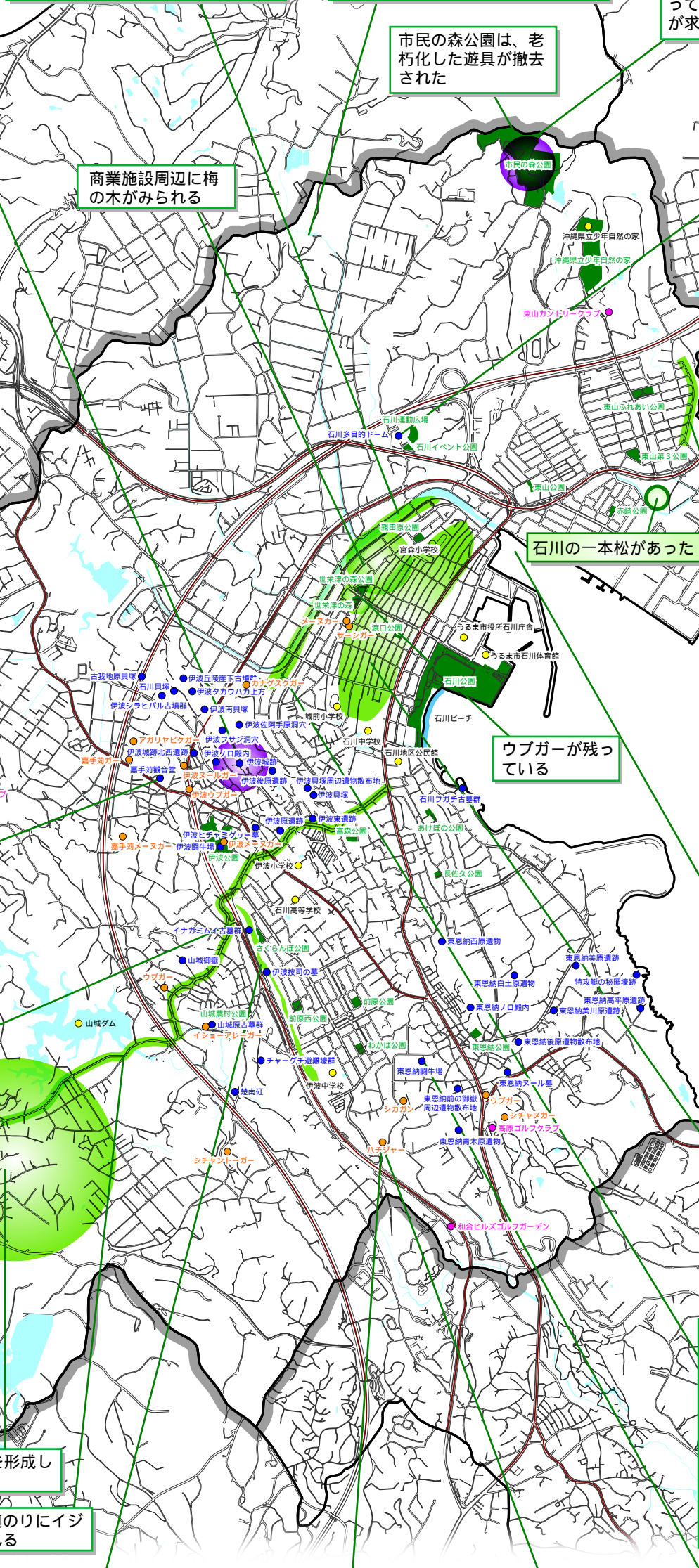
石川川でマングローブがみられる



肥前川



市民の森公園は、良好な眺望点となっていることから今後も保全・整備が求められている



市民の森公園は、老朽化した遊具が撤去された

商業施設周辺に梅の木がみられる



石川多目的ドームには、闘牛大会の時期になると多くの人が訪れている

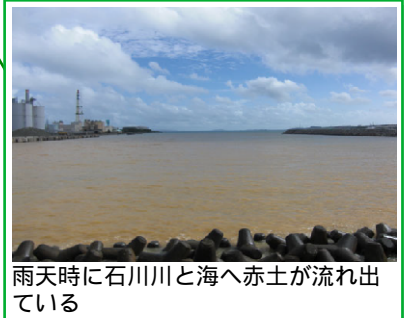
ボランティア緑化団体のイッペー会が整備したイッペーの森

石川の一本松があった

ウブガーが残っている



イッペー通りにみられる良好な沿道緑化



雨天時に石川川と海へ赤土が流れ出ている



石川1・2丁目には、フクギ屋敷林が多く残っている



石川川の遊歩道で桜並木等の良好な緑化がみられる

茶畑が良好な景観を形成している

茶畑に向かう道のりにイジユの花がみられる

凡 例	
● (Yellow)	主な公共施設
● (Blue)	史跡・闘牛場
● (Orange)	井泉(カー)
● (Pink)	民間施設緑地
■ (Light Blue)	ビーチ
■ (Green)	公園
— (Red/Black)	沖縄自動車道・国道・県道
● (Green)	良好なみどり
○ (Green)	以前あった良好なみどり
● (Purple)	良好な眺望点
■ (Light Blue)	水面(河川・水路・ダム)



前原風致地区が指定されている



ハチジャー



ハチジャー周辺にみられる田芋畑やクレソン畑



東恩納闘牛場

みどりの将来像

みどりと水に包まれた 彩りとふれあいのまち

将来像の考え方

市街地を囲むように、石川岳、農地、石川川等の自然的なみどりと水があり、今後もそれらを保全し、自然を感じられるまちを目指す。

地域の人々による道路や河川敷等での緑化活動・清掃活動を通し、身近にみどりとふれあえる花いっぱい彩り豊かなまちを目指す。

方針

みどりの特性を踏まえて、上記に掲げるみどりの将来像を実現するため、みどりを守り・つくり・育てるための方針を示す。

樹林地の保全

本地域には、前原風致地区が指定されているが、森林浴の森百選に選定された石川岳等のその他の樹林地についても、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として保全を図る必要があるため、地域との協議のもと、風致地区等の各種地域制緑地（p5 参照）の指定を検討する。

樹林地に囲まれているダムについては、周辺緑地と水面の環境保全を図る。

農地の保全

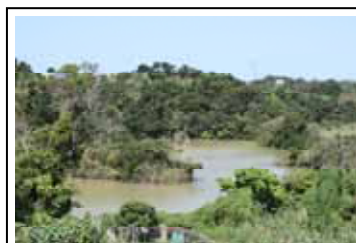
郊外では、市街地を囲むように農地が広がっており、のどかな田園風景を形成している。山城の茶畑に代表される優良農地は、地域の貴重な田園風景として保全に努める。

河川の保全・活用

石川川は、本地域の市街地を取り囲むように流下して金武湾に流出している。河川沿いには遊歩道が整備され、近年は地域住民による緑化・清掃活動が行われており、地域に親しまれる空間となっている。今後も地域との協働によって、サ



石川岳



山城ダム



茶畑（山城）



石川川



ワフジや桜等の植樹による市民の憩いの場の創出や、良好な河川環境と遊歩道の維持管理に努め、それを活用したイベント等を開催する。

肥前川は、親水性のある河川整備がなされており、多様な生物の生息地・生育地となっている。今後は、地域住民や子ども達が自然と親しめる活用方法を検討するとともに、環境保全に努める。

東恩納の山田川とその周辺については、自然環境の維持・保全を図る。

海岸・海浜の保全

金武湾に面する海岸沿いは、海辺に親しめる空間形成の保全に努める。また、みどりと白い砂浜が残る石川ビーチの景観保全に努める。

井泉の保全

東恩納のハチジャー、伊波メーヌカー、嘉手苺ガー等、各集落に残る井泉やその周辺環境については、地域と協働で環境整備や維持・保全を図り、地域資源として活用する。

歴史文化資源の保全・活用

伊波城跡、伊波貝塚、嘉手苺観音堂、嘉手苺のヌチシヌジガマ、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源については、地域の歴史と伝統を伝える資源として、地域の協力のもと史跡周辺のみどりと一体的な維持・保全を図り、これらを活かした景観づくり等を進める。

さらに、伊波闘牛場及び東恩納闘牛場は、周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図る。

史跡等の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。

屋敷林や地域のシンボルツリー等の保全

石川1・2丁目、伊波や東恩納等の集落内に残るフクギ屋敷林は、昔ながらの集落景観を形成しており、その保全を図る。

また、山城ウプガーのガジュマルや伊波小学校のガジュマ



肥前川



石川ビーチ



ハチジャー（東恩納）



ヌチシヌジガマ（嘉手苺）



フクギ屋敷林(石川1丁目)

ル等の地域のシンボルとなる樹木を、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全するとともに（p69 保存樹（案）一覧図参照）、赤崎の一本松の復元を検討する。

道路の緑化と維持管理

東山のイッペー通りは、地域ボランティア団体による植栽・維持管理が行われ、良好な沿道景観を演出している。その他にも、本地域には山城のサワフジ通りや市道石川西線のフクギ並木道等の美しい街路樹に彩られた沿道景観がある。今後も、地域住民や専門家等の意見を聞きながら魅力的な街路樹を整備するとともに、地域が愛着を持って育てていけるような道路愛護団体登録制度等の仕組みを検討し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努める。

また、防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置する。



山城ウブガ-のガジュマル



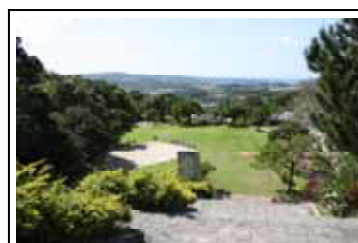
イッペ-通り（東山）

公園・緑地の整備

石川公園や石川イベント公園等の既存公園については、快適に利用できるよう地域住民や関係機関の協力のもと、魅力的な機能の構築、樹木の剪定、遊具・トイレ等の施設の維持管理を図る。

特に、市民の森公園は、石川岳の自然環境に包まれ、展望台からは太平洋及び東シナ海が望める魅力的な公園で利用者も多かったが、近年は老朽化した遊具の撤去等、当初の施設の機能が低下し、十分な活用が図られておらず利用者も減少している。今後は、市民や来訪者が気軽に豊かな自然環境に親しめるよう、敷地内の安全対策の充実や施設の改善により機能の再構築と利便性の向上に努める。また、少年自然の家や市内外の教育機関等との連携を図り、子ども達の自然体験といった学習の場等として多様な活用を進める。

また、伊波城跡及び伊波貝塚については、周辺の自然環境や生態系を保全しつつ歴史公園としての整備を進め、市民及び来訪者の憩い・交流の場、観光・レクリエーション拠点としての有効活用を図る。伊波城跡及び伊波貝塚の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。



市民の森公園



伊波城跡



伊波貝塚



嘉手苜等の身近な公園が不足している地域については、配置バランスを考慮し、新規公園の整備を検討する。(p11 字別住民一人当たり公園面積現況図参照)

公園整備については、地域ニーズを反映させるとともに、防犯等の安全性や利便性・快適性等に配慮する。

公共施設・民間施設の緑化

地域参加型による多様な緑化手法を検討し、公共施設緑化を進める。また、民間施設については、大気汚染等への緩衝帯となる工業施設の緑化、観光振興にも寄与するリゾートホテルの緑化等、それぞれの施設の特性に応じた緑化・維持を進める。



発電所の緑化空間（赤崎）

住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出

都市基盤が整理された住宅地や、フクギ屋敷林の残る昔ながらの集落等、多様な住宅地が存在しており、それぞれの地域特性に応じた住宅地のみどりづくりを進める。例えば、平成8年度（1996年度）に「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」として承認された石川西土地区画整理事業区域は石川川のりバーサイドに相応しい質の高い緑化を進める等、地域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組む。



石川西土地区画整理事業区域

高台からの良好な眺望の保全

伊波城跡、太平洋及び東シナ海が望める石川高原展望台と市民の森公園展望台等の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。



石川高原展望台からの眺望

地域とともに取り組む緑化活動

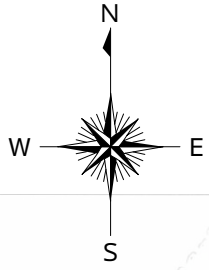
本地域には、各自治会をはじめ、地域住民等で組織される多くの緑化団体が意欲的に活動しており、活動の場は地域コミュニティづくりにも寄与している。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制を構築し、それぞれの役割を果たしながら、河川緑化・沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組む。



住民による石川川美化活動

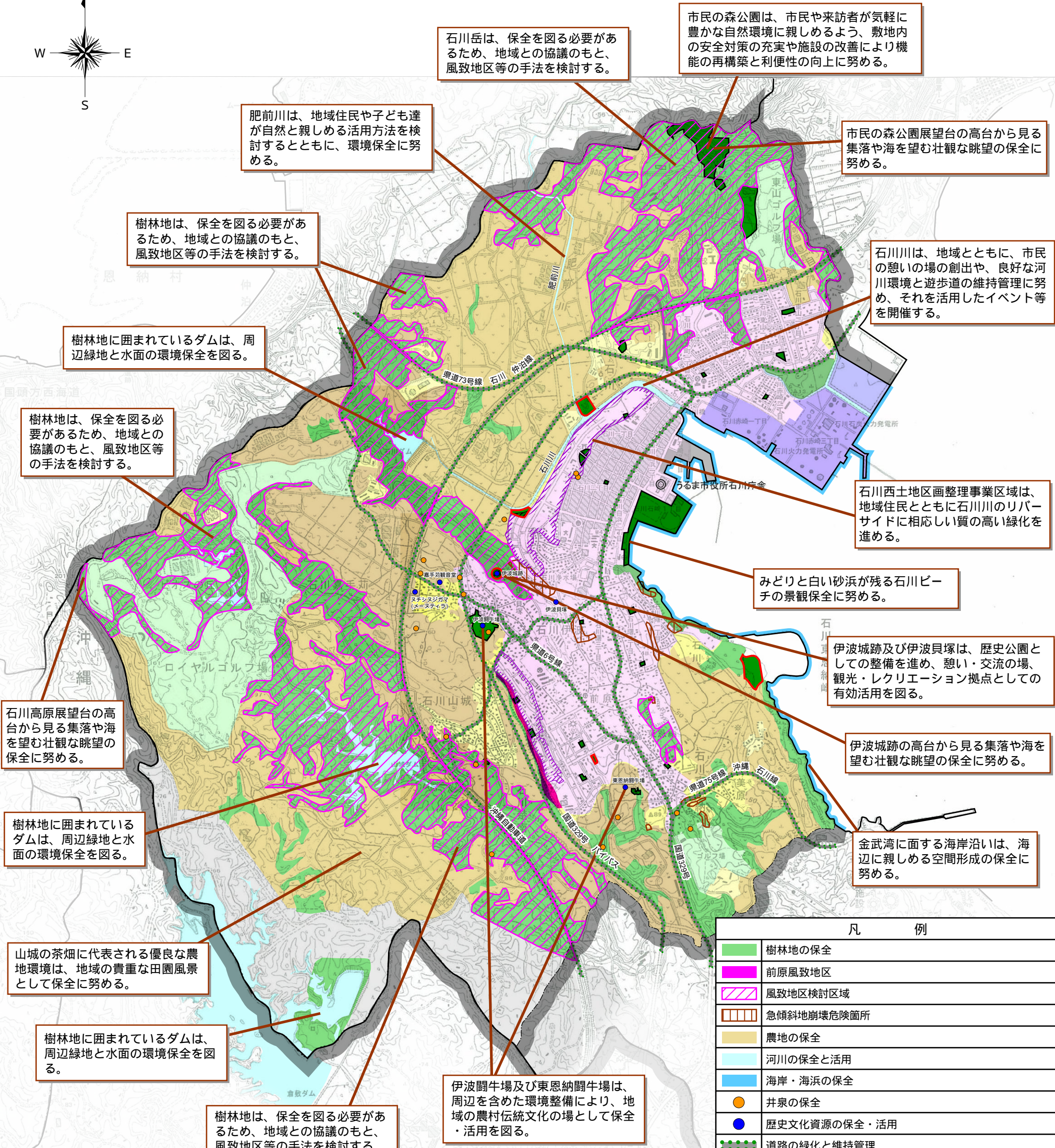
地域別方針図（石川地域）

0 500 1,000 2,000m



みどりの将来像

みどりと水に包まれた 彩りとふれあいのまち



石川高原展望台の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。

樹林地に囲まれているダムは、周辺緑地と水面の環境保全を図る。

山城の茶畑に代表される優良な農地環境は、地域の貴重な田園風景として保全に努める。

樹林地に囲まれているダムは、周辺緑地と水面の環境保全を図る。

樹林地は、保全を図る必要があるため、地域との協議のもと、風致地区等の手法を検討する。

石川岳は、保全を図る必要があるため、地域との協議のもと、風致地区等の手法を検討する。

肥前川は、地域住民や子ども達が自然と親しめる活用方法を検討するとともに、環境保全に努める。

樹林地は、保全を図る必要があるため、地域との協議のもと、風致地区等の手法を検討する。

樹林地に囲まれているダムは、周辺緑地と水面の環境保全を図る。

樹林地は、保全を図る必要があるため、地域との協議のもと、風致地区等の手法を検討する。

みどりと白い砂浜が残る石川ビーチの景観保全に努める。

伊波城跡及び伊波貝塚は、歴史公園としての整備を進め、憩い・交流の場、観光・レクリエーション拠点としての有効活用を図る。

伊波城跡の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。

金武湾に面する海岸沿いは、海辺に親しめる空間形成の保全に努める。

市民の森公園は、市民や来訪者が気軽に豊かな自然環境に親しめるよう、敷地内の安全対策の充実や施設の改善により機能の再構築と利便性の向上に努める。

市民の森公園展望台の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。

石川川は、地域とともに、市民の憩いの場の創出や、良好な河川環境と遊歩道の維持管理に努め、それを活用したイベント等を開催する。

石川西土地区画整理事業区域は、地域住民とともに石川川のリバーサイドに相応しい質の高い緑化を進める。

伊波闘牛場及び東恩納闘牛場は、周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図る。

(仮称)伊波城跡公園
1号街区公園(石川西土地区画整理事業地区)
石川西緑道1号線
石川西緑道2号線
石川西緑道3号線
(仮称)石川浄水場広場
前原1号公園
(仮称)石川交流広場

については、区域が特定していないためポイントで表示している
 ~ については、規模が小さいため図面上に表示はしていない

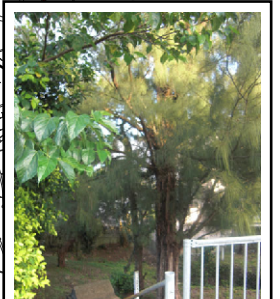
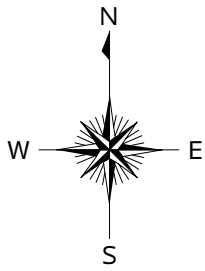
	樹林地の保全
	前原風致地区
	風致地区検討区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	農地の保全
	河川の保全と活用
	海岸・海浜の保全
	井泉の保全
	歴史文化資源の保全・活用
	道路の緑化と維持管理
	公園(整備済・整備中)
	公園(計画)
	住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出(用途地域内)
	住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出(用途地域外)
	土地区画整理事業区域
	工業地の緑化
	民間施設緑地
	港湾
	基地
	埋立地

保存樹(案)一覧図(石川地域)

うるま市みどりの基本計画基礎調査委託業務報告書にある保存樹(案)をもとに、住民意見から挙げた樹木を追加している。ここに挙げている樹木は一例であり、実際の保存樹指定の際には、さらなる調査が必要である。

0 500 1,000 2,000m

住民意見からの保存樹(案)



凡 例	
●	主な公共施設
●	史跡・闘牛場
●	民間施設緑地
■	ビーチ
■	公園
■	前原風致地区
—	沖縄自動車道・国道・県道
■	水面(河川・ダム)